



「わが家の家計診断をしてほしい」

共働きでは、家計の収入が潤沢になるため、どんぶり勘定になりがちである。しかし、教育費、住宅ローン、老後資金が待ち構えているだけに、早いうちに家計運営の基礎を築いておきたいものだ。そこで第3回目のテーマは、新婚時の家計を取り上げる。

●
今年、私の周りで結婚が相次いだ。この半年間で、妹、弟、4人の友人が結婚している。私は、お祝いとしていつも、FPの皆さんが書いて

「時短勤務中の収入はフルタイム時に比べ7割程度と仮定します」

ではあるが、やはり、ゆくゆくはマイホームが欲しい。そこで今回は、無理なく返済できる住宅ローン計算してもらい、「買える物件の価格」についても教えてもらうことにした。相談にあたり、八ツ井さんからは質問票を事前に渡されていた。これは、収入・支出などキャッシュフロー表（以下、CF表）の作成に必要なデータを整理するためのもの。CF表を作ると、家計の課題を浮き彫りにできるうえに、住宅購入によって、家計がどう変化するのかもグラフでわかりやすく示すことができるというわけだ。

CF表を作成するにあたり、まず八ツ井さんは「お子さんは何人お考えですか？」と家族構成についてヒアリング。それに対し、妻は「2人欲しいです。1人目は30歳まで、2人目は35歳までに産みたいと考えています」と答えた。

続けて、八ツ井さんは、「子どもを産んだ後も働きたい」という妻の今後の収入について見込み額をCF表に反映させていった。

ている「結婚したら」といったテーマの書籍を贈ることになっているのだが、そんな私の様子を見て、こんなことを言う人がいる。「他人のことより、私たちのお金は大丈夫なの？」

妻である。実は、私も昨年結婚したばかりだ。妻とは学生時代から同棲生活を送ってきたため、結婚した現在でも家計管理は学生時代の感覚のまま。一応、家賃、水道光熱費などは私が支払い、食費や日用品代は妻が出すという役割分担はしている

ものの、自分が担当していない支出が毎月いくらなのか、正確には把握していない。ましてや、妻が毎月どれだけ貯蓄に回しているのか知る由もない。

「奥さんが育児休業している間の収入は、休業前の半分と見込みましょう。休業終了後は時短勤務で復職を希望とのことですが、そのときの収入がわからない場合は、フルタイム時から3割カットされるケースをよく聞くので、時短の収入は休業前の7割と仮定しましょう。第2子のときは、時短勤務で収入が減っているところから、育児休業で収入が約半分になるので、現在の3割強の収入となりますね」

妻の勤め先では、子どもが小学校を卒業するまで時短勤務が認められている。だが、妻は「親元から離れているときに子どもは強くなる」と考えていることもあり、早いうちの完全復帰を望んでいる。そこで、CF表上では、第2子が身の周りのことを自分でできるようにするであろう小学4年生時にフルタイムに戻ることにした。

ちなみに、私の収入については、毎年1万円ずつ上昇するものとし、60歳で完全にリタイアするというように保守的に見込んでおいた。

自分の家計をきっちり管理できていないのに、友人の家計を心配するなんておこがましい。そこで、私は生活マネー相談室の八ツ井慶子さんに、わが家の家計について相談することにした。

八ツ井さんが言うには「家計相談には、ご夫婦で一緒にいらっしゃるのが理想的です」とのこと。これまでもお金の使いみちについて夫婦で真剣に話し合ったことがないだけに、妻を連れていくのは、なんだか緊張する。

*
6月、飯田橋にある八ツ井さんの事務所を訪問。家計に問題がないかは気になるところ



八ツ井慶子 ● やついでい・けいこ
埼玉県生まれ。地元の大手信用金庫に入庫後、2001年に家計の見直し相談センターの相談員としてFP活動を始める。2013年、生活マネー相談室を立ち上げる。女性FPの会理事。豊富な相談経験を活かした相談ビジネスラボ（勉強会）を開催中。

「CF表どおりになるかは2人のマインド次第です」

でいった。現時点では不確定なことが多い教育費については、子ども2人とも保育料に加え、小学校から高校までは公立、大学が私立文系という進路をたどったときの平均値を利用した。

「学校に支払う『学校教育費』は平均値を利用しても、世間年収による差は大きくないでしょう。一方で、『学校外教育費』は、世帯年収が高くなるほど、お金をかける傾向があります。つまり、全世帯の平均値を使うと、自分にとっては高めに見積もることになる場合もあります。習いごとにご自分でお金をかけるつも